令和７年度　江戸川区立江戸川学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	自他ともに認め合い、主体的に行動する人	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	保護者・地域とともに共育・協働する学校 自他ともに認め合い、主体的に行動できる児童 教え育むプロとしての指導力がある教師
前年度までの本校の現状	成果	＜成果＞ 〇日常生活の中に運動を取り入れることで体力を向上させることができた。人権尊重教育推進校として、児童一人一人を大切にした指導や支援ができるように児童理解を深めた。	課題	＜課題＞ 〇さらなる児童理解と、児童の人権に配慮した支援の工夫を充実させる必要がある。また、個別最適な学びを保障するための学習指導力、生活指導力の向上も必要である。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	〇授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・授業展開の統一化 ・毎学期、東京ベーシックドリルの診断テスト、漢字テストの実施	・児童アンケートにおいて８０％以上が肯定的評価											
		・週２回の自主学習の実施	・児童アンケートにおいて８０％以上が肯定的評価											
	〇読書科の更なる充実	・探究的な学習を全学年年間12時間実施 ・高学年において思考ツールを活用した授業の実施	・100％実施											
体力向上	〇個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	・始業前の全校運動遊び、朝運動の実施	・児童へのアンケート結果で、80％以上の児童が肯定的評価											
		・学期に1回のなわ跳び週間の設定	・80％以上の児童が江戸川区なわ跳びコンテストに参加											
		・休み時間に体力向上を目指した運動の実施	・全校で毎学期１回実施											
共生社会の実現に向けた教育の推進	〇ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・巡回指導や特別支援教室専門員の活用、日本語指導員や日本語教室との連携	・毎月１回、管理職と特別支援教育担当教員等との打ち合わせを実施											
	〇エンカレッジルームの活用促進	・エンカレッジルームの保護者への理解啓発	・毎学期１回、SC等によるエンカレッジルームの周知											
	〇副籍交流、交流及び共同学習の実施充実	・年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施	・各学期1回以上の実施											
不登校・いじめ対	〇豊かな心の育成	・毎月１回、異学年（なかよし班）活動の実施と活動後の振り返りの充実	・児童アンケートにおいて、80％以上が肯定的評価											
	〇L-Gateの活用	・L-Gateによる児童の実態把握と児童支援の充実	・年１回L-Ggateの研修の実施及び各学期１回児童理解研修の実施											

応の充実	○教育相談の強化	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携強化	・不登校児童とのＳＣ、ＳＳＷ連携率100％											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○学校（園）ホームページの充実等	・学校ホームページの更新	・各学年週２回更新を行う											
	○学校関係者評価の充実	・児童、保護者、地域、教職員へのアンケート調査の実施	・各学期に1回実施											
特色ある教育の展開	○働き方改革の推進	・月１回の定時退勤日の設定	・全教職員の月残業時間55時間以下											
	○教員研修の実施	・教員の組織的な育成	・教員が互いに授業を参観し合う授業公開Weekを毎学期１回実施											
	○教科担任制の推進	・全学年での教科担任制の推進	・２学期以降、全学年で教科担任制を実施											